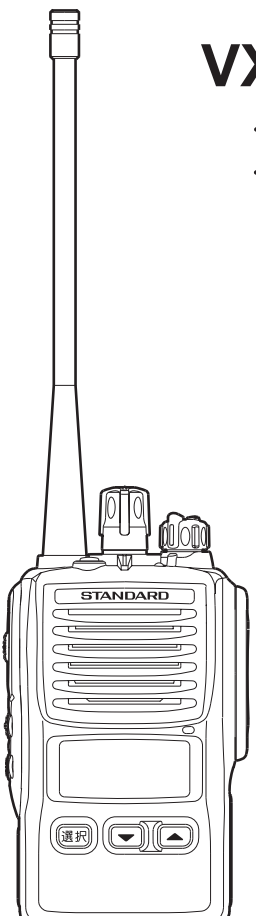
STANDARD

携帯型業務無線電話装置

VX-582V/U・CAT

VX-582V/U・FT

取扱説明書



お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

この無線電話装置は国内専用モデルです。
海外では使用できません。

目　次

お客様へ..... 1
防水性について..... 1
構成品..... 1
安全上のご注意..... 2
正しくご使用いただくために..... 5
各部の名前と機能..... 6
通話のしかた..... 7
オプションマイク“MH-66A7A”の取り付け..... 8
　オプションマイクの感度切り替え方法 8
ベルトクリップの使いかた..... 9
電池パックの取り付け / 取り外し..... 10
　リチウムイオン電池パックを取り付ける 10
　リチウムイオン電池パックを取り外す 10
　電池の消耗について 10
リチウムイオン電池パックの充電方法..... 11
チャンネルスイッチまたは ▲/▼ ボタンでチャンネルを選択する..... 12
よく使用するチャンネルをメモリーする..... 14
チャンネルキーをロックする..... 15
　ロックを解除するには 15
照明ランプを点灯する..... 16
スケルチレベルを変更する..... 16
緊急を知らせる..... 17
　エマージェンシー機能の動作変更方法 17
呼び出し機能..... 18
　呼び出し方法 18
　呼び出しを受けた局は 18
　個別コードの設定方法 (自局)..... 19
　個別コードの確認方法 (自局)..... 19
故障かな？と思うまえに..... 20
定格..... 21
オプション..... 21

お客様へ

● お願い

◎ 本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、“分解”や“改造”を行うことは、法律で禁止されています。

◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。

● アフターサービス

◎ 正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店または、八重洲無線株式会社国内営業部（電話：03-6711-4055）にお問い合わせください。

防水性について

本機の防水性能は、付属のアンテナと電池パックを取り付け、さらに MIC/SP 端子のラバーキャップをしっかり取り付けた状態で、水深 1 mの水没に 30 分間耐えることができます（IP57 相当）。この防水性を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

◎ キーやボタンのラバー、MIC/SP 端子のキャップ、電池パック接合部分などに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。

◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。

◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。

◎ 本機は完全防水ではありませんので、水中での使用はできません。

● オーバーホールのお奨め

◎ 下記のいずれかに該当する場合は、オーバーホールをお奨めします。
なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。

- お買い上げから 1 年経過した後
- オーバーホールを行って 1 年経過した後
- 落下や衝撃が加わった場合
- キズ劣化等が確認された場合

構成品

◎ 本体..... 1
◎ 空中線（アンテナ）..... 1
◎ ベルトクリップ 1
◎ ダミーボード 1
◎ 取扱説明書（本書）..... 1
◎ 保証書..... 1

安全上のご注意　～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

危険　誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告　誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

行ってはならない禁止事項です（例 分解禁止）。

必ず守っていただきたい注意事項です。

危険

自動車を運転しながら使用しない
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。
運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください。

航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。

引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない
発火事故や落下事故などの原因になります。

電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険
化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医者の診断を受けてください。

電源端子をはんだ付けやショートをしない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。
ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください。

リチウムイオン電池パックを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。

警告

分解や改造をしない

本機は電波法に基づく無線局です。
分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。

本機は、“IP57 相当”の防浸構造になっておりますが、特に海水などがついたときは水で洗い流し、乾いた布などで拭きとる

性能や寿命を低下させる原因になります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカー装着者は使用しない

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

当社指定以外の充電器を使用しない

火災や故障の原因になります。

煙が出ている、変な臭いがするときは電源スイッチを切って、リチウムイオン電池パックを外す

火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました特約店または八重洲無線株式会社国内営業部に修理をご依頼ください。

心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る

本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意

指定以外のオプションを使用しない
ケガの原因になります。
また、本体の故障や破損の原因にもなります。

アンテナを持って、本体を振り回したり投げたりしない
本人や他人に当たり、ケガの原因になります。
また、本体の故障や破損の原因にもなります。

アンテナを折り曲げたりしない
アンテナの変形や破損の原因になります。

強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
故障の原因になります。

リチウムイオン電池パックを、指定の充電器で充電するときの温度範囲は 5℃～ 35℃です
これ以外の温度での使用は、故障の原因になります。

磁気カードなどを無線電話装置に近づけない
キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。

人の多い場所では使用しない
アンテナが他人に当たり、ケガの原因になります。

無線電話装置を直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない
変形や変色等の原因になります。

シンナーやベンジンなどでケースを拭かない
変形や変色等の原因になります。
ケースが汚れた場合には、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

小さなお子さまの手の届かない場所に保管する
ケガなどの原因になります。

正しくご使用いただくために

- 本機にマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正のオプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。
  当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
- リチウムイオン電池パックを充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります。
- オプションマイクロホンを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたままにしないでください。
  コードの断線などにより、故障の原因になります。
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
- 電波法により、無線電話装置やマイクを分解・改造・指定以外の装置を接続することは禁じられています。
- 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。
- 通話する際は、マイクから約 5 センチ離して普通の声で話してください。
  マイクと口元の距離が近かったり、声が大きかったりすると、音声が割れたり、歪むことがあります。
- 運用が終わりましたら、バッテリーパックが消耗しないように、無線電話装置の電源を切ってください。
- 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

各部の名前と機能

緊急ボタン
緊急時に押します（1秒以上）。
緊急信号を止めるときは、一旦電源を切り再度入れ直してください。
※：動作は初期設定により異なります。

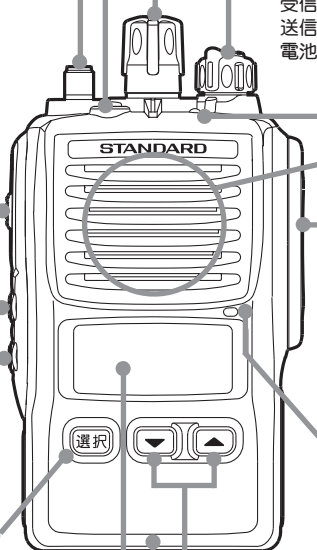
アンテナコネクター

アンテナのコネクターに近い太い部分を持って、時計方向に回しながら取り付けます。

チャンネルスイッチ
◎ VX-582VCATの通話チャンネルは、9チャンネル選択することができます。
◎ VX-582UCATの通話チャンネルは、16チャンネル選択することができます。
◎ VX-582VFT/UFTの通話チャンネルは、ご契約の内容により異なります。

電源スイッチ / 音量調節ツマミ

インジケーターランプ
受信／話中時：緑色に点灯
送信時：赤色に点灯
電池消耗時：赤色に点滅
（送信及び受信時）



PTT（通話）ボタン
通話するときにボタンを押します。

スピーカー

MIC/SP ジャック
オプションのスピーカーマイクを接続する端子です。
● スピーカーマイクを取り付けるときはマイクに付属されているビスで取り付けてください。

モニターボタン
相手の声が途切れて聞こえるときは、ボタンを押し続けてください。

ランプボタン
一度押すと5秒間点灯します。

マイクロホン

選択キー
セレコール機能が設定されているときの呼び出し方法を選びます。

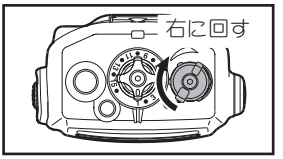
▲/▼ ボタン
チャンネル、個別コード、グループコードなどを設定するときに押します。

ディスプレイ（照明ランプ付き）
チャンネルやメッセージを表示します。
選択キーや▲/▼ボタンを押すと、照明ランプが約5秒間点灯します。

電池パックロックレバー（底面）
リチウムイオン電池パックや、乾電池用ケース（オプション）を取り付けてロックするレバーです。

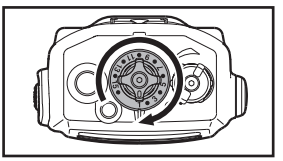
通話のしかた

① **電源スイッチ**を右に回すと、電源が入ります。
ディスプレイに“STANDARD”が表示され「ピポッ」と電子音が鳴り、現在のチャンネルをディスプレイに表示します。

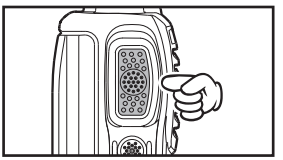


② **モニターボタン**を押しながら、**音量調節ツマミ**で音量を調節します。
聞きやすい音量にします。

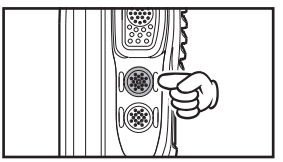
③ **チャンネルスイッチ**を回して相手と同じチャンネルに合わせます。
VX-582VCAT の通話チャンネルは、9 チャンネルまで選択することができます（VX-582V/U・FT は、ご契約の内容によりチャンネル数は異なります）。
チャンネルスイッチで通話チャンネル以外のチャンネルを選択すると「ピロロッ・・・」とエラー音が鳴り警告します。



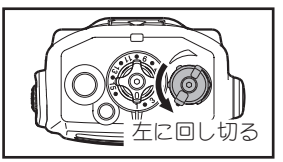
④ **PTT（通話）ボタン**を押しながらマイクロホンに向かって話します。
インジケーターランプが赤色に点灯します。
マイクロホンと口元の間隔は、5cm 位が適当で、普通の声で話します。
● 速やかに通話してください。



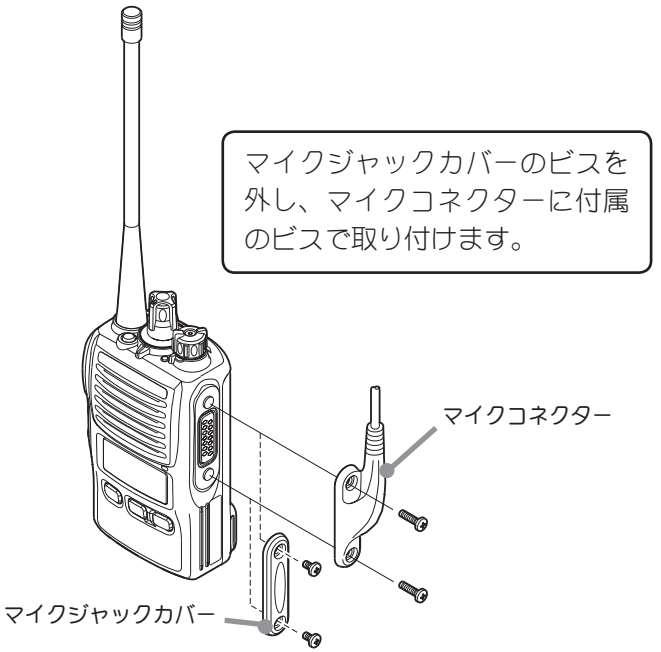
⑤ **PTT（通話）ボタン**を離すと、相手の話を聞くことができます。
相手の声が途切れて聞こえるときは、**モニターボタン**を押し続けてください。



⑥ **閉局するときは電源スイッチ**を左に回し切ると、電源が切れます。
「カチッ」と音がするまで回し切ります。



オプションマイク“MH-66A7A”の取り付け



オプションマイクの感度切り替え方法

オプションマイクを使用した際、マイクの感度が高すぎる場合は、マイクの感度を下げることができます。

① 一度電源を切り、“選択”ボタンを押しながら電源を入れます。

② “▼”ボタンを 1 回押して、ディスプレイの左に“EMIC”が表示されたことを確認し、“選択”ボタンを押します。

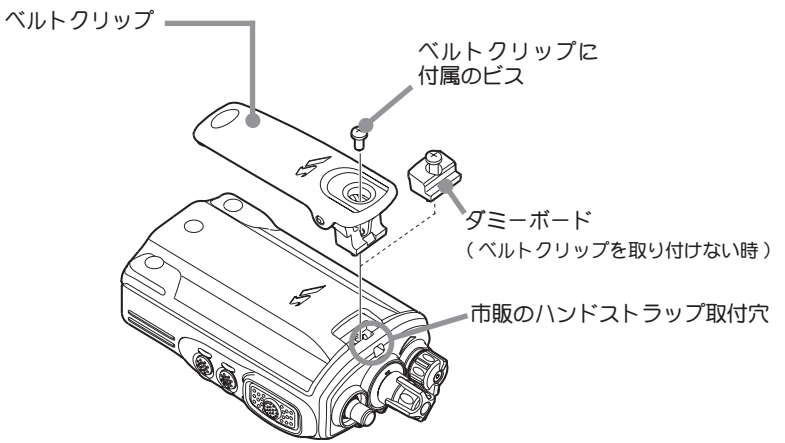
③ “▲/▼”ボタンで希望の感度を選び、“選択”ボタンを押します。

〇マイクの感度は、“6”（高）、“0”（標準）、“-6”、“-12”、“-18”（低）から選択することができます。

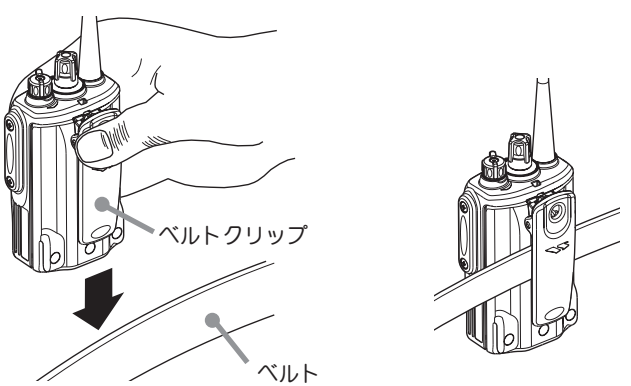
④ 電源を切ると設定は終了です。

ベルトクリップの使いかた

ダミーボードを外し、ベルトクリップに付属しているビスで、ベルトクリップを取り付けます。



ベルトクリップの先端を指で押し、ベルトへ確実に取り付けてください。

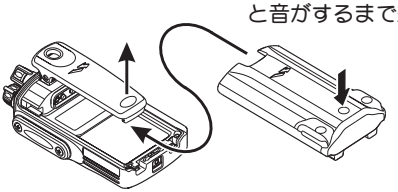


電池パックの取り付け / 取り外し

リチウムイオン電池パックを取り付ける

①ベルトクリップを取り付けている場合は矢印の方向に上げます。

②リチウムイオン電池パックの背面を押しながらスライドし、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

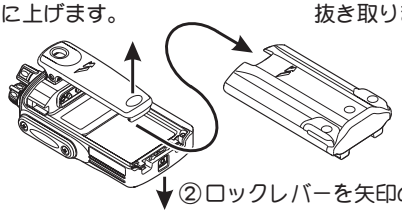


●「カチッ」と音がするまで、電池パックの背面を押しながらスライドし、確実に取り付けてください。
確実に取り付けていないと落下事故や故障の原因になります。

リチウムイオン電池パックを取り外す

①ベルトクリップを取り付けている場合は矢印の方向に上げます。

③リチウムイオン電池パックを抜き取ります。



②ロックレバーを矢印の方向に下げます

●ロックを外す時は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。

電池の消耗について

電池が消耗すると、インジケーターランプが赤色に点滅します。
直ちに充電を行ってください。

電池持続時間※は	薄型リチウムイオン電池パック FNB-V86/-V118 シリーズ	約 9 時間
	標準リチウムイオン電池パック FNB-V87 シリーズ	約 16 時間
	大容量リチウムイオン電池パック FNB-V92 シリーズ	約 21 時間

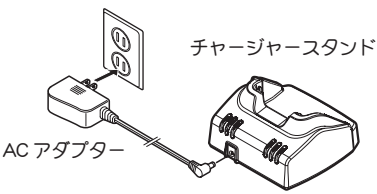
※ 電池持続時間は「送信 5：受信 5：待ち受け 90」の測定条件になります。
周囲の温度により使用できる時間が異なることがあります（特に寒冷地では使用時間が短くなります）。

リチウムイオン電池パックの充電方法

付属の急速充電器（VAC-50A）で、リチウムイオン電池パックを充電します。

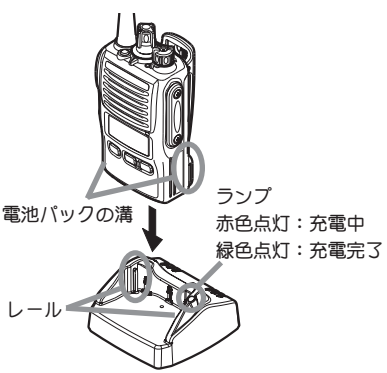
充電時間※	FNB-V86/V118 ｼﾘｰｽﾞ	FNB-V87 ｼﾘｰｽﾞ	FNB-V92 ｼﾘｰｽﾞ
	約 100 分	約 160 分	約 200 分

① チャージャースタンドの背面にあるジャックに、AC アダプターのコネクターを差し込み、電源プラグをコンセント（AC 100V）に接続します。



急速充電器（VAC-50A）

② 電源を切ったトランシーバー（または電池パック）をチャージャースタンドに挿し込みます。



チャージャースタンド

③ チャージャースタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプは緑色に変わります。

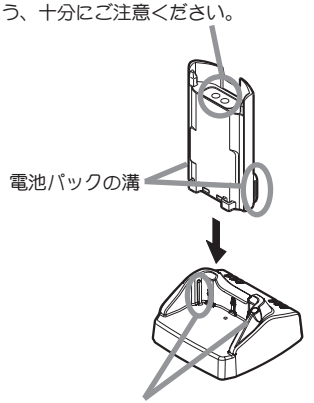
○充電終了後、AC アダプターをコンセントから外してください。

●長時間充電したままにしておくと、リチウムイオン電池パックを劣化させることがあります。

電池パック単体で充電する際のご注意

リチウムイオン電池パックを単体で充電するときは、リチウムイオン電池パックの溝をチャージャースタンド内側のレールに合わせて挿し込みます。

電極が上面に露出しますので、金属片などが触れてショートすることがないよう、十分にご注意ください。

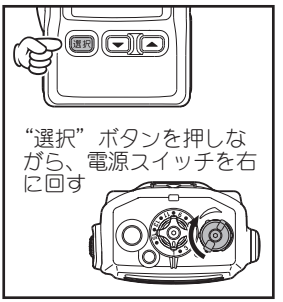


チャージャースタンド
内側のレール

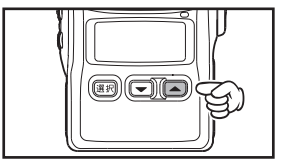
チャンネルスイッチまたは ▲/▼ ボタンでチャンネルを選択する

チャンネルキーのみ、またはチャンネルスイッチとチャンネルキーを両方利用してチャンネルの選択ができます。

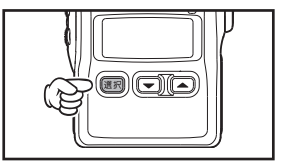
① **“選択”ボタン**を押しながら電源を入れます（ディスプレイに“SET MODE”が表示後“BEEP ON”が点灯します）。



② “▲”**ボタン**を２回押します（ディスプレイに“CH TOP”が点灯します）。



③ **“選択”ボタン**を押します（ディスプレイの“TOP”が点滅します）。



④ “▲”または“▼”**ボタン**で、希望するチャンネルの選択方法を設定します（ディスプレイに選択した表示が点滅します）。
「チャンネルの選択方法は右上表を参照」

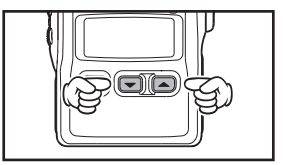
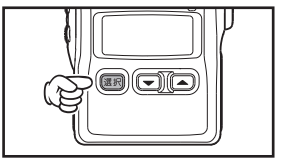


表 示	チャンネルスイッチ	▲/▼ ボタン
CH TOP （工場出荷時）	UCAT：1 ～ 16 チャンネル VCAT：1 ～ 9 チャンネル	使用できません
CH FRNT	使用できません	UCAT：1 ～ 35 チャンネル VCAT：1 ～ 9 チャンネル
CH BOTH	UCAT：1 ～ 15 チャンネル ＋メモリーチャンネル VCAT：1 ～ 9 チャンネル ＋メモリーチャンネル	UCAT：1 ～ 35 チャンネル VCAT：1 ～ 9 チャンネル

※ VX-582V/U・FT は、ご契約の内容により異なります。

⑤ **“選択”ボタン**を押します（ディスプレイに選択した表示が点灯します）。



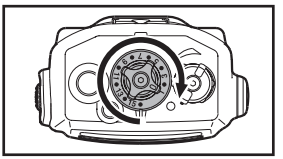
⑥ 一度電源を切り再度電源を入れると設定が完了します。

- ▲/▼ **ボタン**を使用する設定にした場合は、“▲”を押すとチャンネルがアップし、“▼”を押すとチャンネルがダウンします。
- **チャンネルスイッチ**でチャンネルを合わせてあっても、▲/▼ **ボタン**でチャンネルを変更した場合は ▲/▼ **ボタン**でセットしたチャンネルが優先されます（“CH BOTH”の場合）。
- よく使用する 1 波の通話チャンネルを、専用のメモリーチャンネルに登録しておくことができます。登録方法は「よく使用するチャンネルをメモリーする」を参照してください。

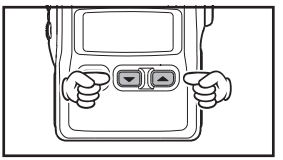
よく使用するチャンネルをメモリーする（CH BOTH 時に有効）

よく使用する 1 波の通話チャンネルを専用のメモリーチャンネルに登録しておくことができます。電源を切っても登録したチャンネルは消えません。通話するときにチャンネルキーやチャンネルスイッチで設定する必要が無くなり、大変便利な機能です。

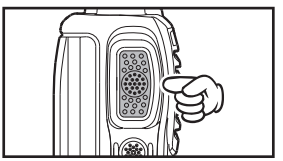
① **チャンネルスイッチ**を 16 チャンネルの位置に合わせます。
ディスプレイに約 1 秒間“MEMORY”が表示されます。



② “▲”または“▼”**ボタン**を押して通話チャンネルを設定します。



③ **PTT スイッチ**を短押しして確定します。

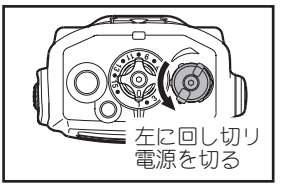


④ 通話するときは、**チャンネルスイッチ**を 16 チャンネルの位置に合わせておきます。
他のチャンネルを登録したい場合は、手順①から手順③の操作を繰り返すことにより、何度でも違うチャンネルを登録することができます。

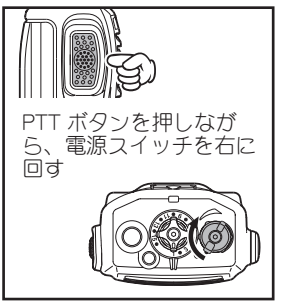
チャンネルキーをロックする（CH FRNT、CH BOTH 時に有効）

誤って“▲/▼”**ボタン**や“**選択**”**ボタン**に触れても、チャンネルが変わらないようにすることができます。

① **電源スイッチ**を左に回し、電源を切ります。



② **PTT ボタン**を押しながら**電源スイッチ**を右に回すと、電源が入り同時にロックされます。
ディスプレイに“LCK ON”が表示されたら **PTT ボタン**を離してください。
○ロックが動作中に“▲/▼”**ボタン**や“**選択**”**ボタン**を押すと、ディスプレイに 1 秒間“--LOCK--”が表示され、ロック中であることを知らせます。

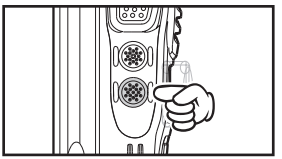


ロックを解除するには、
上記の操作と同様に手順①から手順②の操作を行います。
ディスプレイに約 1 秒間“LCK OFF”が表示されます。

照明ランプを点灯する

ランプボタンを押すと、約5秒間ディスプレイの照明が点灯します。

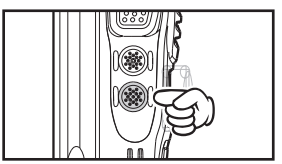
○ 照明が点灯中に**ランプボタン**を押すと、照明を消すことができます。

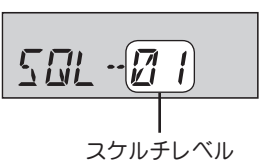


スケルチレベルを変更する

信号を受信していない時に“ザー”という雑音が聞こえて耳障りな場合は、スケルチレベルを調節してください。

① スケルチレベルを変更したいチャンネルに合わせます。
② **ランプボタン**をスケルチレベルの表示が出るまで約３秒間押し続けます。
③ **“▲/▼”ボタン**で、スケルチレベルを設定します。
　○スケルチレベルは“00”～“12”から選択することができます。
④ **ランプボタン**を押すと、設定は終了です。





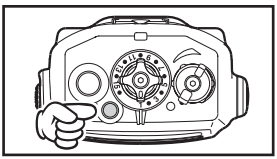
スケルチレベル

緊急を知らせる ～エマージェンシー機能～

不慮の事故などの緊急事態を知らせることができます。

“緊急”ボタンを約 1 秒以上押すと、エマージェンシー機能が動作します。

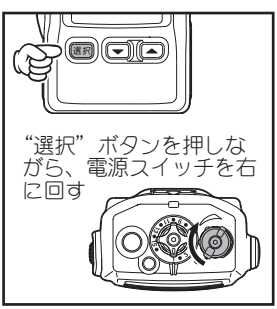
- ○ エマージェンシー機能が動作中は、ディスプレイの“EMG”が点滅します。
- ○ エマージェンシー機能の動作を停止させるには、再度**“緊急”ボタン**を約 1 秒以上押すか、電源を切ってください。
- ○ セレコール機能を設定している場合は、下記の“動作変更方法”の設定により、相手局のディスプレイに自分の個別コードを表示させることもできます。
  ※ 右の表示例は VX-582V/U・FT の表示です。
  VX-582V/U・CAT では、2桁の数字で表示されます。



個別コード

エマージェンシー機能の動作変更方法

① 一度電源を切り、**“選択”ボタン**を押しながら、電源を入れます。
② **“▼”ボタン**を 2 回押して、ディスプレイの左に“EMG”が表示されたことを確認し、**“選択”ボタン**を押します。
③ **“▲/▼”ボタン**で、希望の動作（下表参照）を選び、**“選択”ボタン**を押します。
④ 電源を切ると設定は終了です。



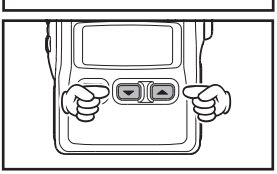
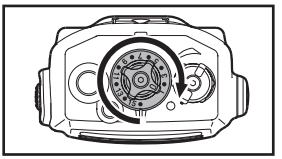


表　示	EMG BPT	EMG ---T	EMG BP	EMG OFF
ビープ音	○	×	○	×
個別コードの送出	○	○	×	×

個別コードについては、19 ページを参照してください。

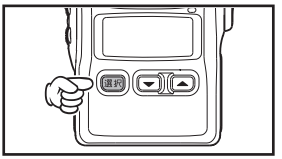
呼び出し機能 ～セレコール機能が設定されているとき～

呼び出し方法



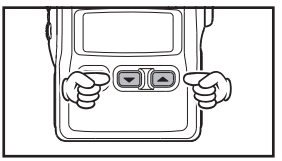
① **チャンネルスイッチ**を回して、相手局と同じチャンネルにあわせます。
② **“選択”ボタン**を何度か押して、呼び出し方法を選びます。

※下の表示例は VX-582V/U・FT の表示です。VX-582V/U・CAT では、２桁の数字で表示されます。

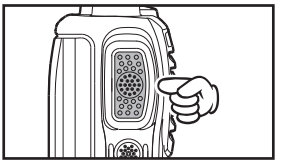


特定の相手局を呼び出したいとき ➠ SEL 005

特定のグループに属する、全ての局を一斉に呼び出したいとき ➠ GRP 001



同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出したいとき ➠ ALL



③ 特定の相手局やグループを呼び出したい時は、**“▲/▼”ボタン**で“個別コード”または“グループコード”を選択します。
④ 上記のいずれかが表示されている間（約３秒間）に、**PTT ボタン**を押します。

呼び出しを受けた局は

呼び出し音が鳴るとともに、ディスプレイの表示で呼び出しがあったことがわかります。

※下の表示例は VX-582V/U・FT の表示です。VX-582V/U・CAT では、２桁の数字で表示されます。

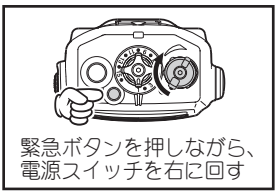
個別呼び出しを受けたとき ➠ SEL 005

グループ呼び出しを受けたとき ➠ GRP 001

全体呼び出しを受けたとき ➠ ALL

個別コードの変更方法（自局）

① 一度電源を切り、**緊急ボタン**を押しながら、電源を入れます。

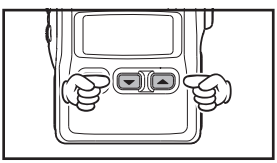


② ディスプレイの左に“KBT”が表示されたことを確認し、**“選択”ボタン**を押します。

※ 右の表示例は VX-582V/U・FT の表示です。VX-582V/U・CAT では、２桁の数字で表示されます。

③ **“▲/▼”ボタン**で、希望のコードを選び、**“選択”ボタン**を押します。

・ セレコール機能を解除するときは“---”（VX-582V/U・CAT では“--”）を選んでください。



④ 電源を切ると設定は終了です。

個別コード

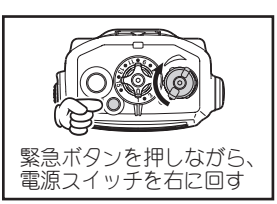
個別コードの確認方法（自局）

① 一度電源を切り、**緊急ボタン**を押しながら、電源を入れます。

② ディスプレイに、現在設定されている個別コードが表示されます。

・ 右の表示例は VX-582V/U・FT の表示です。VX-582V/U・CAT では、２桁の数字で表示されます。

・ 個別コードが設定されていない場合は“--”（VX-582V/U・CAT では“--”）が表示されます。



設定されている個別コード

③ 個別コードを確認後は、電源を切ってください。

個別コードが設定されていない場合

故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

◎ 電源が入らない！

- リチウムイオン電池パックまたはアルカリ乾電池が消耗していませんか？
  - ➠ **リチウムイオン電池パック使用時**
    リチウムイオン電池パックを充電してください。
  - ➠ **乾電池ケース“FBA-34”使用時**
    新しいアルカリ乾電池に交換してください。
- リチウムイオン電池パックまたはFBA-34の端子が接触不良になっていませんか？
  - ➠ 端子を乾いた布で拭いてください。
- リチウムイオン電池パックが古くなっていませんか？
  - ➠ リチウムイオン電池パックの寿命です。新しいリチウムイオン電池パックとお取り替えください。

◎ 送信できない！

- PTT（通話）ボタンを正しく押していますか？

◎ 通話できない！

- 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- 相手局の個別コードは間違えていませんか？（セレコール機能が設定されている時）
- グループコードは間違えていませんか？（セレコール機能が設定されている時）

定　格

送 受 信 周 波 数：VX-582V　150MHz 帯
　　VX-582U　400MHz 帯
電　波　型　式：F3E(FM)、F2D
通　信　方　式：単信（プレストーク）方式
送　信　出　力：5W
自 動 識 別 装 置：副搬送波 MSK 方式 2400bps
受　信　感　度：VX-582V　－ 6dBu 以下（20dB 雑音抑圧感度）
　　VX-582U　－ 8dBu 以下（12dB SINAD）
受　信　方　式：ダブルスーパーヘテロダイン
低 周 波 出 力：0.7W 以上（10% 歪時）
副次的に発する電波等の強度：4nW 以下
定　格　電　圧：DC 7.4V
本　体　寸　法：56mm × 97mm × 34mm(FNB-V118LI 使用時）
本　体　重　量：約 270g(FNB-V118LI, ベルトクリップ, アンテナを含む）

オプション

◎ 薄型リチウムイオン電池パック：　FNB-V86/-V118 シリーズ
◎ 標準リチウムイオン電池パック：　FNB-V87 シリーズ
◎ 大容量リチウムイオン電池パック：　FNB-V92 シリーズ
◎ 防水型スピーカーマイク：　MH-66A7A
◎ 小型スピーカーマイク：　EK-404-581
◎ タイピン型マイク＆イヤホン：　EK-313-581
◎ タイピン型マイク＆イヤホン：　EK-505W
◎ イヤホンマイク：　EM-200A7A
◎ 咽喉マイク＆イヤホン：　EM-01-581
◎ 急速充電器：　VAC-50A
◎ 連結型充電器：　CD-51
◎ 連結型充電器用 AC アダプタ：　PA-47A
◎ キャリングケース：　LCC-581
◎ イヤホンアダプター：　EA-581
◎ EA-581 用イヤホン：　ME101/100CM
◎ ショートアンテナ（465 ～ 469MHz）：　ATU-12G
◎ 乾電池ケース：　FBA-34

Radio Communication Solutions
株式会社ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 本　　社　東京都品川区南品川 2-7-18　TEL 03-5715-2351
□ 関 西 支 店　大阪市西区千代崎 1-24-11　TEL 06-6583-7700

□ 札幌営業所　□ 名古屋営業所
□ 仙台営業所　□ 九州営業所

https://www.jenix.co.jp/　営業所住所はこちら▶

STANDARD

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店または、下記までご相談ください。

八重洲無線株式会社　国内営業部
〒 140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8
天王洲パークサイドビル
電話：03-6711-4055

バーテックススタンダードＬＭＲ合同会社
〒 108-0023 東京都港区芝浦 4-6-8 田町ファーストビル（6 階 ）

E C 0 8 2 U 0 1 7

中国印刷